

推薦します

高垣 忠一郎 さん

(心理臨床家・立命館大学名誉教授)



30年の歴史を持つ相談員集団が、その相談経験をもとに『社会的ひきこもり』の理解とその支援のあり方について、知恵を集めて論議し丁寧にわかりやすく説いた稀有な集団の労作である。

目次から

- I 社会的ひきこもりとは
どのようなことか
- II 社会参加を促すには
どのようにすればよいか
- III 対応と援助にあたっての心得
- IV 社会的に解決するために



A5版—20ページ 頒価800円

社会的ひきこもりから 自立への歩み



推薦します

福田 敦志 さん(大阪教育大学准教授)

「ありのままのわたしを受け入れてほしい」という叫びは、「わたしがわたしを受け入れたい」という願いである。この叫びへの応答は、葛藤する営みに同伴することによってなされる。

本書を道標として葛藤する営みに同伴し続けたとき、あなたはきっと気づく。あなた自身がありのままのあなたを受け入れることができるようになっていくことに。

目次から

- I 子どもは、どのようにして登校拒否になり、立ち上がるのでしょうか
- II 登校拒否の要因は何でしょうか
- III 登校拒否から立ち上がるには
どのようにすればよいのでしょうか
- IV 再登校に向けての対応と援助は
どのようにすればよいのでしょうか
- V 安心と信頼の学校づくりをとともに
- VI どの子ども登校拒否になり得る
「社会の要因」「家庭の要因」
- VII 登校拒否を生まない学校・社会を



A5版—12ページ 頒価800円

道すじ

改訂新版
登校拒否を克服する